

子どもの遊び場「うんぜん ほっと・フィールド（仮称）」
整備基本計画



令和6年3月
雲仙市

目 次

第1章 計画の目的と概要.....	1
1. 計画の目的.....	1
2. 計画の概要.....	1
第2章 コンセプトと基本方針.....	2
1. コンセプト.....	2
2. 基本理念.....	2
(1) 遊び・学びの拠点.....	2
(2) 交流の拠点.....	2
(3) 安全を学ぶ施設.....	2
3. 本施設の目指すべき方向性.....	3
第3章 管理方針の検討.....	4
1. 利用料金の検討.....	4
(1) 市民アンケートの結果.....	4
(2) 保育会アンケートの結果.....	4
(3) 類似施設の運営事業者ヒアリング.....	4
(4) まとめ.....	4
2. 事業手法の検討.....	5
(1) 類似施設の事業者ヒアリング.....	5
(2) 本施設の運営方針によるスタッフの育成.....	5
(3) まとめ.....	6
第4章 市民ニーズ調査.....	7
1. 市民アンケート調査.....	7
(1) 単純集計.....	7
2. 保護者ヒアリング.....	18
(1) 施設についての意見・要望.....	18
(2) コンセプトやシステムについての意見・要望.....	18
3. 保育士ヒアリング.....	19
第5章 施設導入計画.....	22
1. 施設計画.....	22
(1) 施設整備方針.....	22
(2) 必要機能の整理.....	23

2. ゾーニング計画.....	24
(1) 全体ゾーニング.....	24
(2) 導入施設の検討.....	26
3. 施設整備スケジュール.....	37
4. 概算事業費.....	37
第6章 管理運営計画の検討.....	38
1. 管理運営の基本的な考え方.....	38
2. 周辺施設との連携.....	39
3. 開館時間・休館日.....	40
(1) 類似施設の事例調査.....	40
(2) 開館時間.....	40
4. 企画・プログラムの検討.....	41

第1章 計画の目的と概要

1. 計画の目的

雲仙市では移住・定住促進、子育て環境における課題として、全天候型の子どもの遊び場を求める声が多いこと等を踏まえ、他の施設との併用・連携を図った、全天候型の子どもの遊び場の整備に向け検討を進めてきました。

本計画は、令和4年度に策定した子どもの遊び場「うんぜん ほっと・フィールド（仮称）」整備基本構想の内容を踏まえ、具体的な運営方法や機能等について、市民の意向も反映しながら、整理し取りまとめるものです。

2. 計画の概要

本計画は、みずほすこやかランド内のヘルシー会館を対象として既存施設を活用した全天候型の遊び場を整備します。ヘルシー会館の施設概要については以下のとおりです。



図 1-1 ヘルシー会館の全景写真

表 1-1 ヘルシー会館の施設概要

土地に関する情報			
所在地	長崎県雲仙市瑞穂町西郷辛621番7		
地目	宅地		
その他	都市計画区域外		
建物に関する情報			
築年	平成5年5月（1993年）		
建築面積	1,206.60 m ²		
延床面積	1,447.19 m ²		
構造	鉄筋コンクリート造		
設備に関する情報			
電気	有	ガス	有
給水	有	排水	有（下水道接続）
電話	有	駐車場	有（43台）

第2章 コンセプトと基本方針

1. コンセプト

基本構想では市民や関係者などを対象に実施したアンケートやヒアリング結果等を踏まえ、キーワードを抽出し、コンセプトを以下のとおり設定しました。

“学び” ・ “つながる” ・ “豊かな心”

2. 基本理念

基本構想における検討・整理結果を踏まえ、以下のとおり設定しました。

(1) 遊び・学びの拠点

- ・ 屋内の遊び場だけでなく、周辺の自然を感じられる屋外への誘導も意識した施設
- ・ 周辺施設との連携を考慮した施設整備を行い、各施設間の相乗効果が高まる施設
- ・ 施設周辺の自然を活用することにより、様々な遊び・学び・体験が行える施設
- ・ 車で行きやすく、余裕のある駐車台数がある施設

(2) 交流の拠点

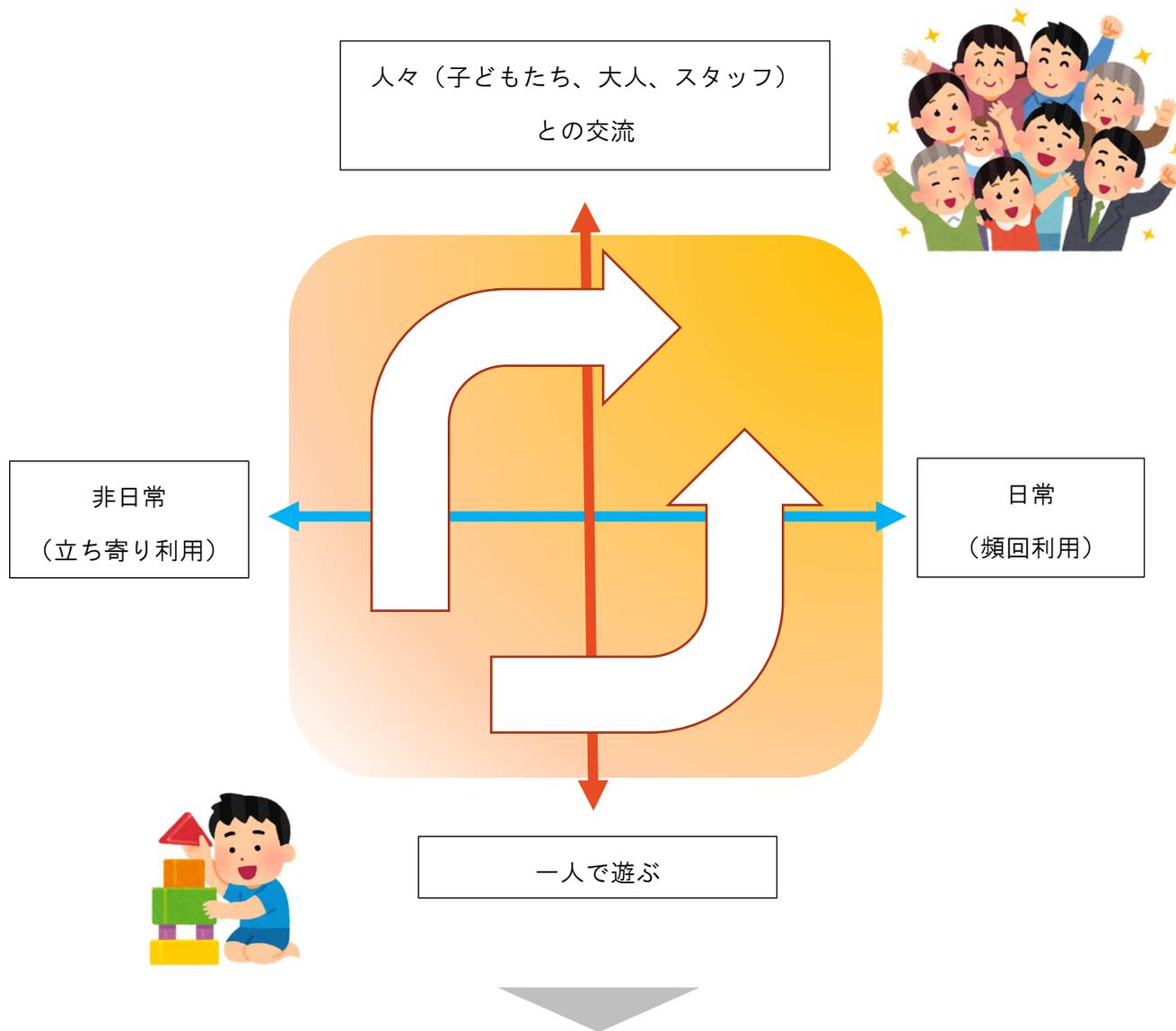
- ・ 子どもたちが遊びや体験を通して、他者と交流することで自立心やコミュニケーション能力を育むことができる施設
- ・ 子どもだけでなく、子育て世代の親も交流できる機能なども含めた施設
- ・ 多世代の人々が関わりあうことで、子どもの成長を育み、大人もほっとできる施設
- ・ 天候に左右されず年間を通して利用可能な施設

(3) 安全を学ぶ施設

- ・ 安全を学び、子どもの成長を見守ることができる施設
- ・ 子どもの発達、年齢などに応じて空間を配置した施設

3. 本施設の目指すべき方向性

本施設の目指すべき方向性について、「人々との交流・一人で遊ぶ」と「日常・非日常」の2軸から、整理しました。



人と人とのコミュニケーションが生まれるよう、スタッフが子どもたちや保護者等とふれあうことにより、人々との交流が自然発生的に行われ、市民はもとより、立ち寄った市外の方にも幅広く再訪していただく施設を目指します。

第3章 管理方針の検討

1. 利用料金の検討

市民及び保育関係者アンケートや事業者ヒアリングから料金設定について整理しました。

(1) 市民アンケートの結果

基本構想における市民アンケート結果から、約7割の市民が、無料を希望しています。

一方で、「無料」、「両方回答」と回答した意見の中には維持管理費のためには多少の料金や一部有料（イベントや体験教室等）は必要という意見もありました。

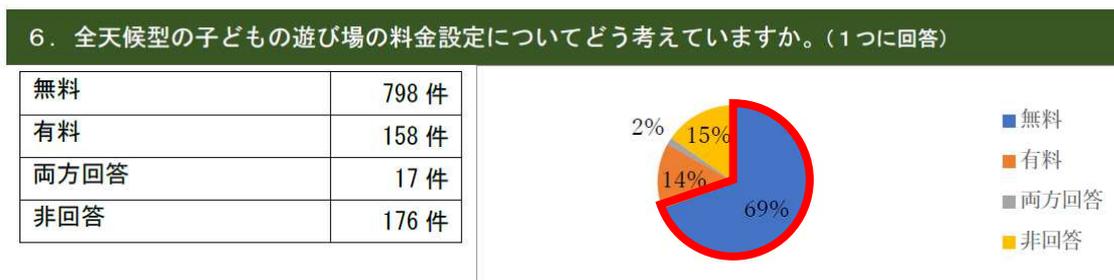


図 3-1 令和4年度アンケート調査結果（子どもの遊び場料金設定）

(2) 保育会アンケートの結果

基本構想における保育会アンケート結果では、運営について料金設定は低料金、または無料という意見がありました。

(3) 類似施設の運営事業者ヒアリング

類似施設の運営事業者ヒアリングの結果、類似施設では無料や低価格としています。

(4) まとめ

各種意見等の整理結果より、市民・保育関係者から無料の希望が多く、県内の周辺類似施設が無料であることなどを踏まえ、本施設の利用料金は無料と設定します。

あわせて、類似施設の状況等を踏まえ、市民限定で団体利用時にフリースペースを貸し出すことなども検討してまいります。

2. 事業手法の検討

本施設の事業手法に関して、公共性と事業費の関係整理及び民間事業者へのヒアリング等から整理しました。

(1) 類似施設の事業者ヒアリング

類似施設の事業者ヒアリング結果により、立地条件や、民間事業者が収益を確保するための利用料金設定が難しいことから、民間事業者による本施設単体での安定した採算性の確保は困難であると考えられます。

敷地周辺のポテンシャルを踏まえた市場性について	
総合建設業系	：立地の観点から、遊戯施設単体では、大きな集客は難しい。
遊具系	：利用料金等の収益で運営するのは難しい。近隣市に屋内遊び場があるため、遠方からの来客を考えることは難しい。
社会教育活動推進	：遊戯施設単独での運営は難しい。

(2) 本施設の運営方針によるスタッフの育成

本施設の運営方針として、人と人が関わりあう、「コミュニケーションを通じた遊び・学びを中心とした運営（人中心の運営）」に重点を置くこととしています。「コミュニケーションを通じた遊び・学びを中心とした運営（人中心の運営）」では、遊具遊びのみならず、子どもや保護者等の利用者にスタッフが積極的に関わることで、他者との交流を通じて、自立心やコミュニケーション能力を育むとともに、子どもと保護者等が安心できる空間を創出することがメリットとして挙げられます。また、スタッフと子どもが一緒に遊ぶことで、その間、保護者は子育てから一時の安らぎを得られるなどのメリットもあります。

8-2-1 施設運営の視点による検討

県内施設の視察及びヒアリングを実施したところ、子どもの遊び場の運営形態については大きく次の2つに分類されることがわかりました。

遊具中心の運営	遊具遊びを中心とした施設で、子どもへの目配りはそれぞれの保護者等の責任で行い、スタッフは最低限の安全管理を行うこととなる。それぞれの家族間で遊びが完結する傾向にある。
コミュニケーションを通じた人中心の運営	遊具遊びのみならず、子どもや保護者等の利用者にスタッフに関わることで、子どもと保護者等が安心できる空間を創出する。スタッフが子どもと一緒に遊ぶことで、保護者は子育てから一時の安らぎを得られる。

人中心の運営のメリット

- ・子どもや保護者等の利用者にスタッフに関わることで、子どもたちがスタッフや他の利用者などの他者と交流しながら自立心やコミュニケーション能力を育むことができます。
- ・本市の自然や伝統などを活用した様々な遊び・学び・体験活動を、地域の方々にも参画いただきながら創出することで、子どもたちが成長につながる様々な経験を得ることができます。
- ・子どもの遊びにスタッフに関わるため、保護者は一定の目配りを行いながらも、息抜きや他者との交流を図ることができ、市民同士の交流促進にもつながります。
- ・スタッフによる保護者等への声掛けなどにより、子育ての負担や不安などの軽減を図ることができます。
- ・他の類似施設の状況では、遠方からの利用者も多く、リピート率が高い傾向となっており、今後の人口減少を見据えても、持続的な運営の観点からメリットがあります。

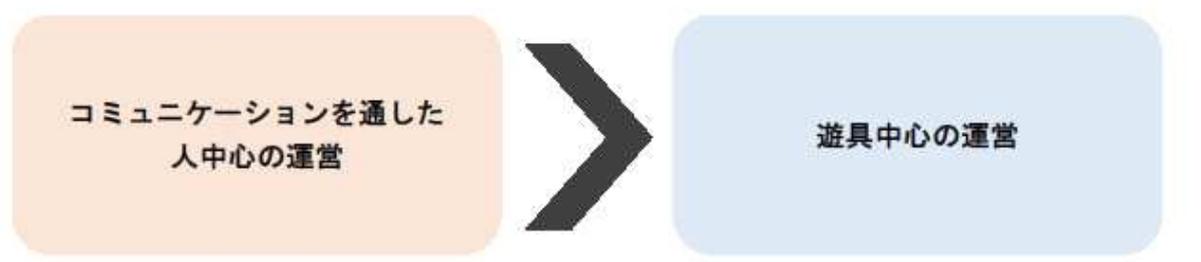


図 3-2 人中心の運営のメリット

(3) まとめ

各種意見等を整理した結果、民間事業者にとって施設単体での運営が困難であると想定されることや、民間事業者の参画意欲が見られなかったこと、また、本施設においてはスタッフの役割が非常に重要であり、子どもたちの遊びの質に大きく影響すること、また、子どもの遊び場については本市において前例がなく、運営内容が十分に確立されていない状況の中での事業開始となることから、運営内容を確立するまでの当面の間は直営方式での事業運営とします。

第4章 市民ニーズ調査

1. 市民アンケート調査

基本構想の内容を受け、より具体的な整備内容を検討していく上で、市民のニーズを把握することを目的として実施しました。

(1) 単純集計

WEB アンケート回答受付期間 令和5年8月1日(火)～8月13日(日)

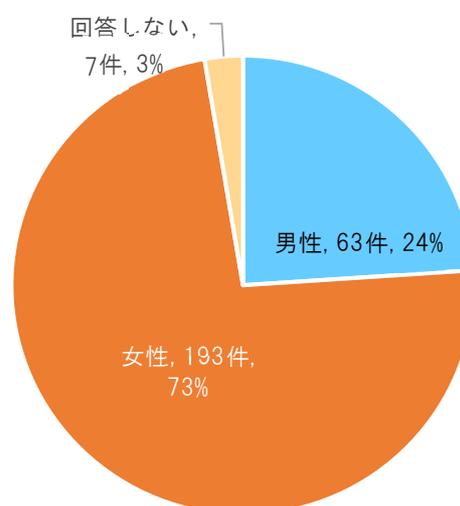
※WEBによる回答が困難な場合は、紙媒体のアンケート用紙にて回答を受付。

- ・周知方法 市HP、SNS、自治会回覧、保育園・こども園経由で保護者へチラシを配付
- ・集計数 263件

①あなたご自身のことについて

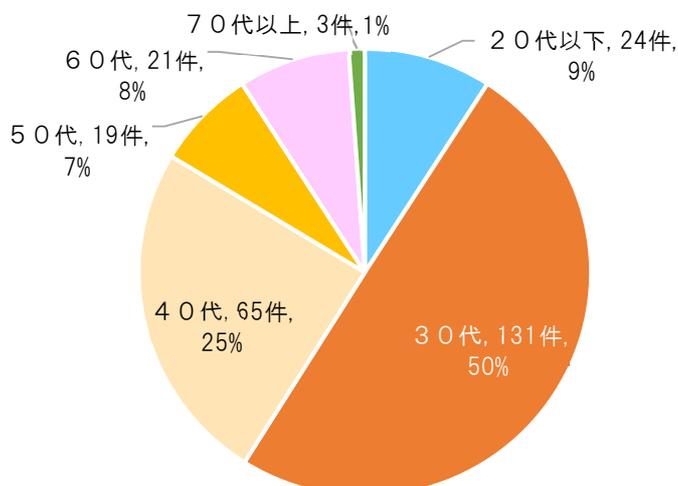
問1 あなたの性別を教えてください。【1つ選んで回答】

	選択肢	件数	割合
1	男性	63件	24.0%
2	女性	193件	73.4%
3	回答しない	7件	2.7%



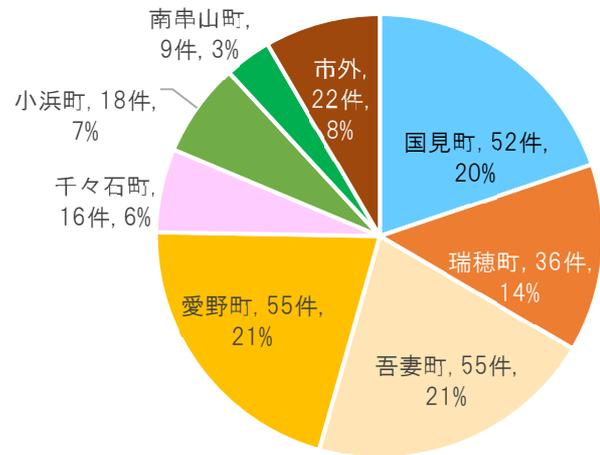
問2 あなたの年齢を教えてください。【1つ選んで回答】

	選択肢	件数	割合
1	20代以下	24件	9.1%
2	30代	131件	49.8%
3	40代	65件	24.7%
4	50代	19件	7.2%
5	60代	21件	8.0%
6	70代以上	3件	1.1%



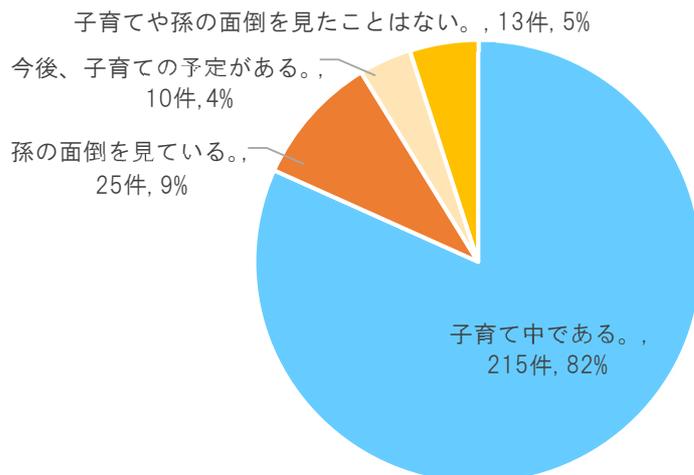
問3 あなたのお住いの地区を教えてください。【1つ選んで回答】

	選択肢	件数	割合
1	国見町	52件	19.8%
2	瑞穂町	36件	13.7%
3	吾妻町	55件	20.9%
4	愛野町	55件	20.9%
5	千々石町	16件	6.1%
6	小浜町	18件	6.8%
7	南串山町	9件	3.4%
8	市外	22件	8.4%



問4 あなたの子育てに関する現在の状況について教えてください。【1つ選んで回答】

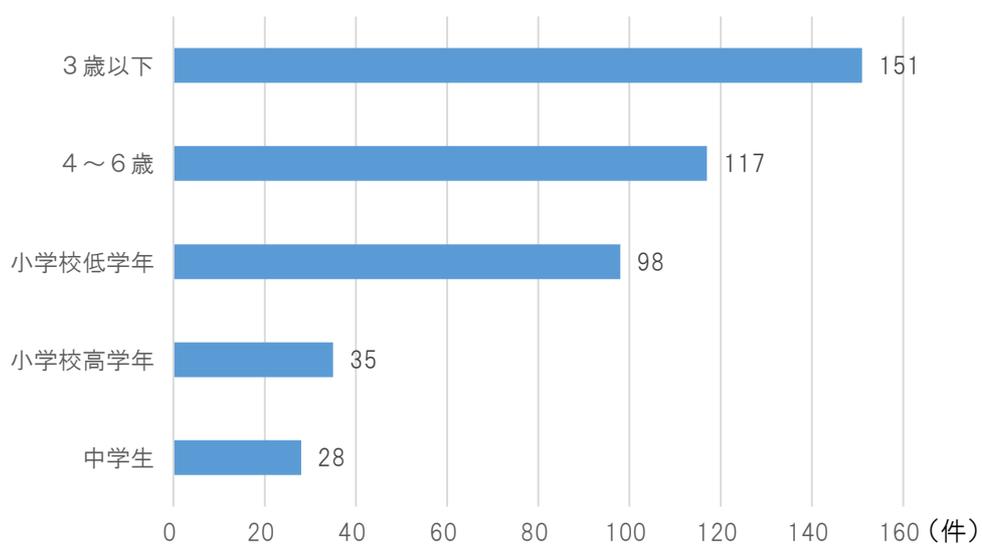
	選択肢	件数	割合
1	子育て中である。	215件	81.7%
2	孫の面倒を見ている。	25件	9.5%
3	今後、子育ての予定がある。	10件	3.8%
4	子育てや孫の面倒を見たことはない。	13件	4.9%



問4-1 問4で「子育て中である。」「孫の面倒を見ている。」と回答した方のみ。
お子さまの該当する年齢について教えてください。【複数回答可】

・「3歳以下」の回答が151件と最も多く、次いで「4～6歳」の回答が117件と多い。

	選択肢	件数
1	3歳以下	151件
2	4～6歳	117件
3	小学校低学年	98件
4	小学校高学年	35件
5	中学生	28件
	無回答	23件



②全天候型の子どもの遊び場について

問5 昨年度策定した基本構想の主な内容（アンケートチラシ裏面参照）について、ご意見があればお聞かせください。 【自由記載】

1) 全体に関すること (28 件)	
<p>①肯定的な意見 (7 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人中心の運営に共感できた。 ・ぜひ利用したい。(ほか、類似意見 1 件) 	など
<p>②否定的な意見 (6 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場は特に必要ない。(ほか、類似意見 1 件) 	など
<p>③要望・質問 (15 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設や遊具を整備するだけでは続けていけないと思うので、遊び場を拠点にして活動する団体(市民団体)が育成されたらと思う。また、貸ブースとして誰でもスペースを借りて講座やイベントができると良い。開設後は、市主導ではなく、実際に利用、活動する市民が主体で成長する施設になればいいと思う。 ・小学校高学年も、遊べるようにしてほしい・楽しめるスペースがほしい。(ほか、類似意見 4 件) 	など

2) 立地に関すること (9 件)	
<p>①肯定的な意見 (4 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近くに遊び場ができるのはありがたい。(ほか、類似意見 2 件) 	など
<p>②否定的な意見 (4 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住地から瑞穂町は遠い。(ほか、類似意見 3 件) 	
<p>③要望 (1 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雲仙市は広いので瑞穂と他に小浜方面にも作った方がいいと思う。 	

3) 各施設機能に関すること (22 件)

①遊戯スペース (7 件)

- ・兄弟を連れて行く場合、0~2歳の遊戯スペースが同じ1階にあったほうが、子どもたちのことをどちらもみてあげられるので助かる。(ほか、類似意見4件)
- ・定額で定期的に利用でき、安全に配慮した遊具などお願いしたい。
- ・がまだすドームのような遊具があったほうが、遊びやすいと思います。
- ・交流スペースのほかに、遊戯スペースで遊ぶ子どもを親が見学できるコーナーも設置してほしい。

②乳児に関して (2 件)

- ・オムツ替え、授乳スペースは1階にもあってほしい。子どもを預けて、保護者が休めたりできるスペースがほしい。育児相談や市のサービス等教えてくれる専門の人もいてほしい。(ほか、類似意見1件)

③水遊びスペース

- ・水換えの方法や、水深には配慮する必要があるかと思います。
- ・水遊びスペースのそばには、着替えルームも準備されているのか？

④体験活動

- ・体験活動では、木のぬくもりに触れ、オリジナル小物を作れる木工教室等企画してほしいです。(ほか、類似意見1件)
- ・マット運動会や器械体操跳び箱など教えてほしい。

⑤飲食

- ・お弁当など持ち込んだ飲食物を食べる場所がほしい。
- ・調理室やカフェスペースで子どもが食べられるメニューの提供や、離乳食講座があれば良いなと思いました。

⑥その他

- ・ロッカーがあるといい。(ほか、類似意見1件)
- ・交通不便の解消で学童を併設したらいいと思います。
- ・長崎市の水辺の森公園のような水が流れていて影になっているような場所があると気軽に利用できるかなと思う。
- ・ママカフェのネーミングが限定的であるため、ガーディアンカフェなど広い人を意味するような名前にしてほしい。
- ・大人が運動するところがあれば良い。

4) その他 (5 件)

- ・現在施設を利用している一般の方は、どうなるのか。サークルなどの代替の場所等は有るのでしょうか。

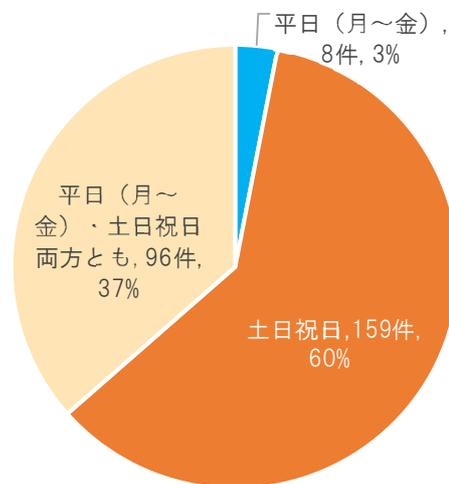
など

問6 全天候型子どもの遊び場を利用すると考えられる曜日について、あてはまるものを選んでください。【複数回答可】

・「土日祝日」の回答が60%と最も多く、次いで「平日（月～金）・土日祝日両方とも」の回答が37%と多い。

	選択肢	件数	割合
1	平日（月～金）	8件	3.0%
2	土日祝日	159件	60.5%
3	平日（月～金）・土日祝日両方とも*	96件	36.5%

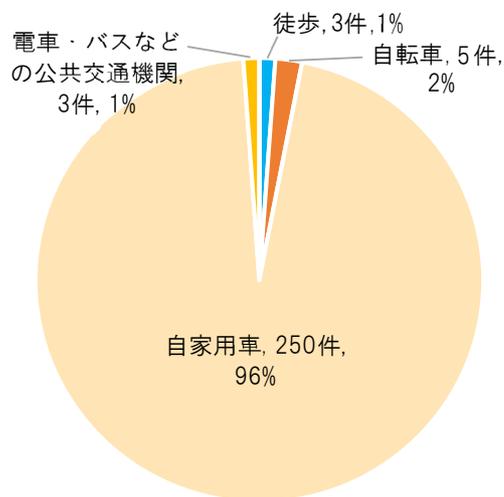
※「平日（月～金）」、「土日祝日」の両方とも選択している回答者を「平日（月～金）・土日祝日両方とも」として集計した。



問7 全天候型子どもの遊び場を利用する場合の主な交通手段について、あてはまるものを選んでください。【1つ選んで回答】

・「自家用車」の回答が全体の96%を占める。

	選択肢	件数	割合
1	徒歩	3件	1.1%
2	自転車	5件	1.9%
3	自家用車	250件	95.8%
4	電車・バスなどの公共交通機関	3件	1.1%
	無回答	2件	-

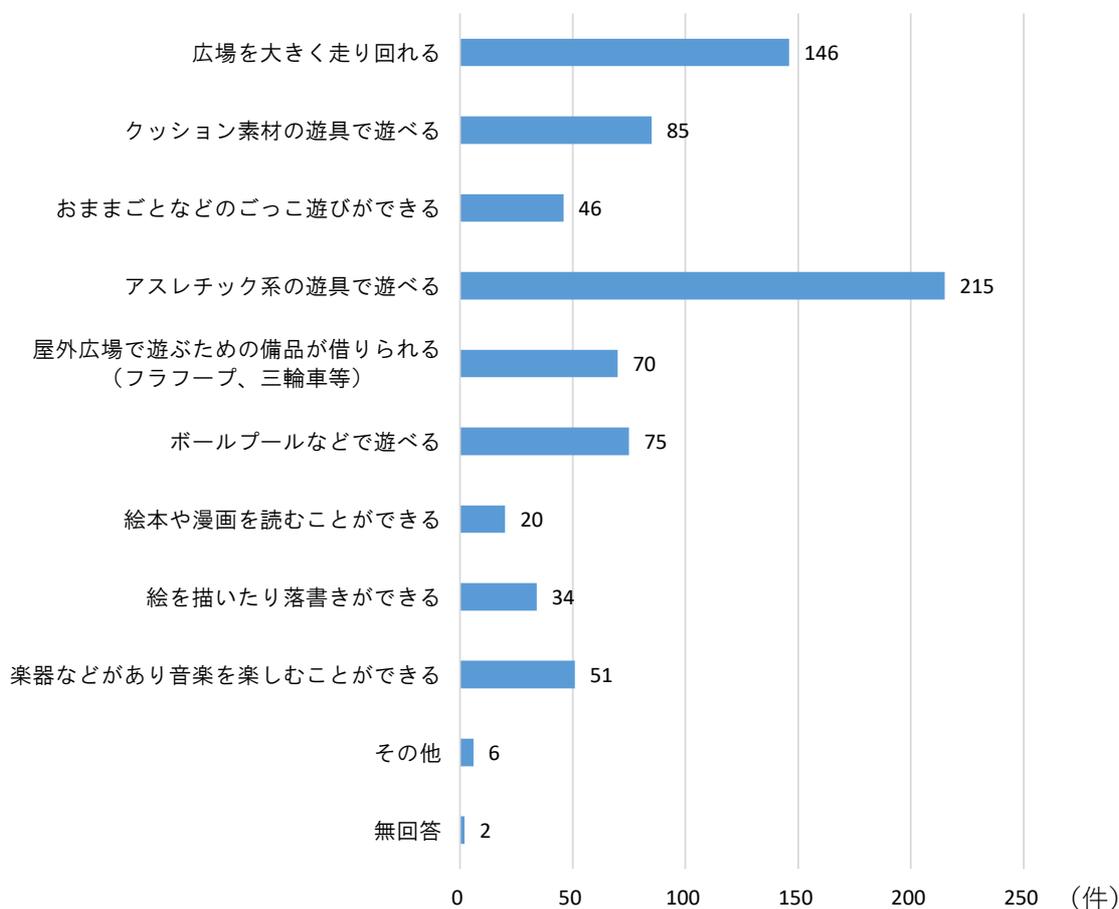


問8 3～5歳・小学校低学年遊戯スペースについて、あなたが求めるものを選んでください。

【3つまで回答可】

・「アスレチック系の遊具で遊べる」の回答が82.4%と多く、次いで「広場を大きく走り回れる」が55.9%と多い。

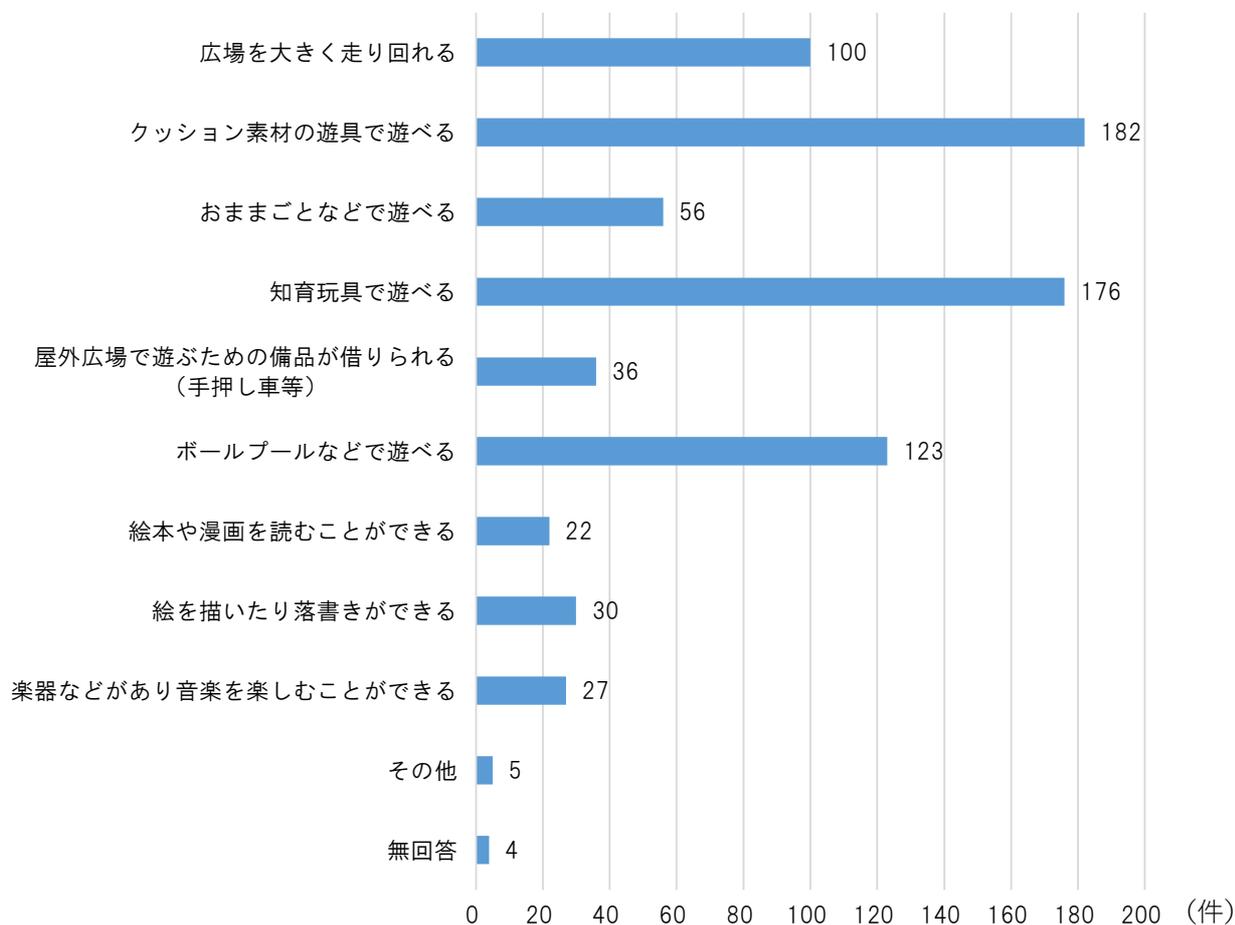
	選択肢	件数	割合
1	広場を大きく走り回れる	146件	55.9%
2	クッション素材の遊具で遊べる	85件	32.6%
3	おままごとなどのごっこ遊びができる	46件	17.6%
4	アスレチック系の遊具で遊べる	215件	82.4%
5	屋外広場で遊ぶための備品が借りられる（フラフープ、三輪車等）	70件	26.8%
6	ボールプールなどで遊べる	75件	28.7%
7	絵本や漫画を読むことができる	20件	7.7%
8	絵を描いたり落書きができる	34件	13.0%
9	楽器などがあり音楽を楽しむことができる	51件	19.5%
10	その他	6件	2.3%
	無回答	2件	-



問9 0～2歳スペースについて、あなたが求めるものを選んでください。【3つまで回答可】

・「クッション素材の遊具で遊べる」の回答が70.3%と多く、次いで「知育玩具で遊べる」が68.0%と多い。

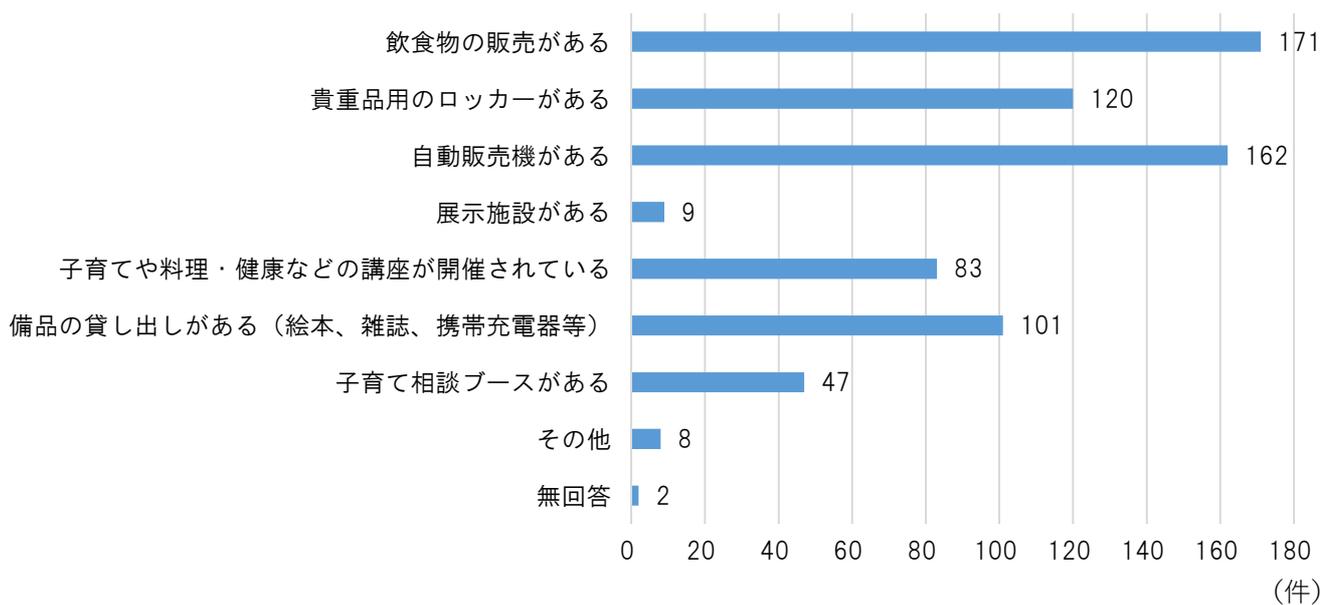
	選択肢	件数	割合
1	広場を大きく走り回れる	100件	38.6%
2	クッション素材の遊具で遊べる	182件	70.3%
3	おままごとなどで遊べる	56件	21.6%
4	知育玩具で遊べる	176件	68.0%
5	屋外広場で遊ぶための備品が借りられる（手押し車等）	36件	13.9%
6	ボールプールなどで遊べる	123件	47.5%
7	絵本や漫画を読むことができる	22件	8.5%
8	絵を描いたり落書きができる	30件	11.6%
9	楽器などがあり音楽を楽しむことができる	27件	10.4%
10	その他	5件	1.9%
	無回答	4件	1.5%



問10 交流スペースや畳スペース、親子交流ラウンジでの機能・施設についてあなたが求めるものを選んでください。【3つまで回答可】

・「飲食物の販売がある」の回答が65.5%と多く、次いで「自動販売機がある」が62.1%と多い。

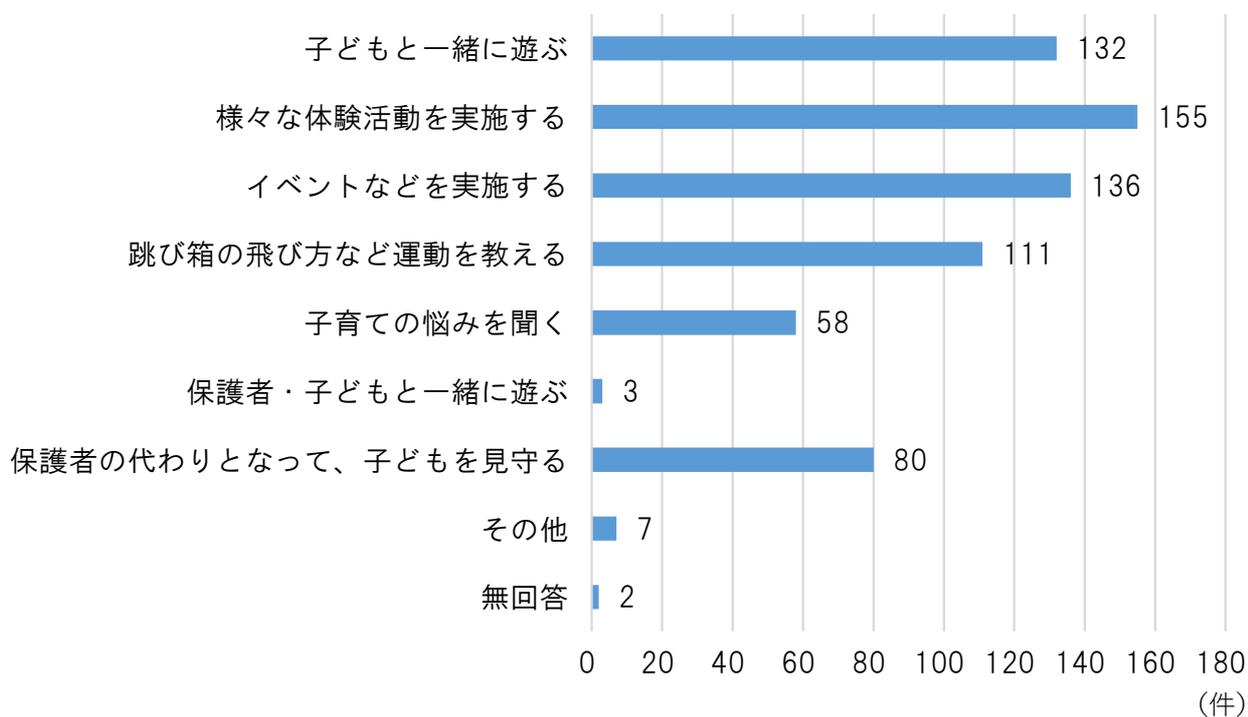
	選択肢	件数	割合
1	飲食物の販売がある	171件	65.5%
2	貴重品用のロッカーがある	120件	46.0%
3	自動販売機がある	162件	62.1%
4	展示施設がある	9件	3.4%
5	子育てや料理・健康などの講座が開催されている	83件	31.8%
6	備品の貸し出しがある（絵本、雑誌、携帯充電器等）	101件	38.7%
7	子育て相談ブースがある	47件	18.0%
8	その他	8件	3.1%
	無回答	2件	0.8%



問11 どんなスタッフがいたらいいですか。あなたの考えにあてはまるものを3つ選んでください。
【3つまで回答可】

・「様々な体験活動を実施する」の回答が59.4%と多く、次いで「イベントなどを実施する」が52.1%と多い。

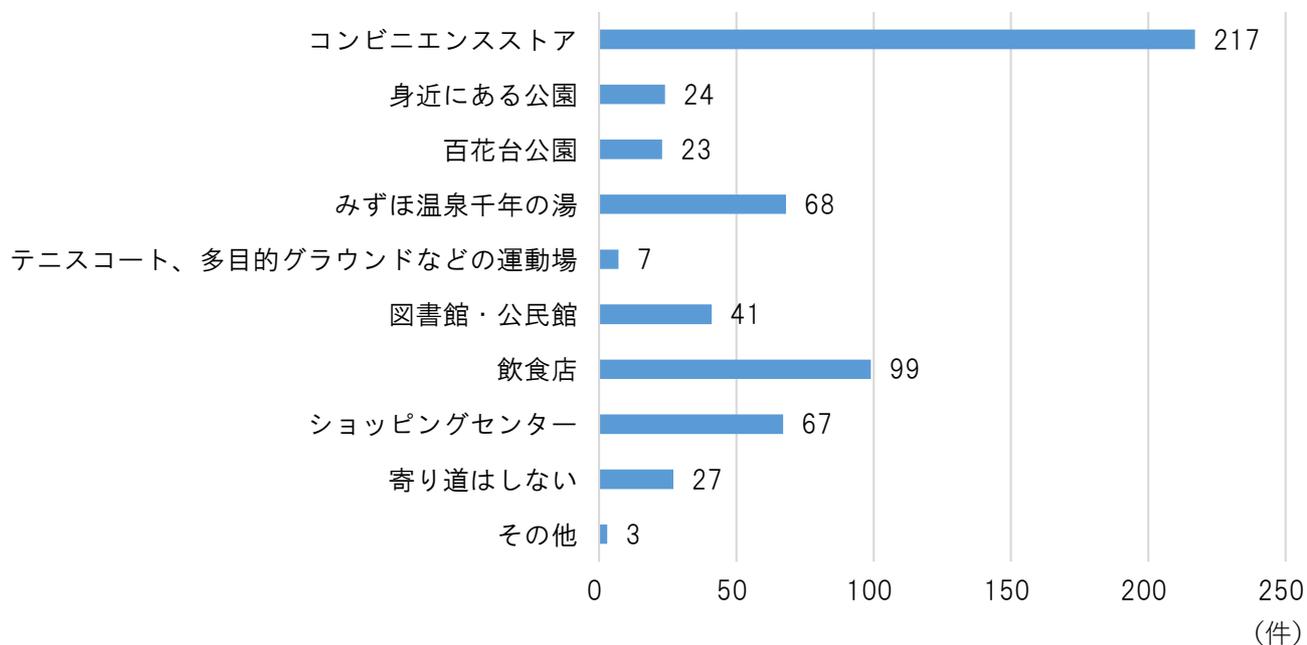
	選択肢	件数	割合
1	子どもと一緒に遊ぶ	132件	50.6%
2	様々な体験活動を実施する	155件	59.4%
3	イベントなどを実施する	136件	52.1%
4	跳び箱の飛び方など運動を教える	111件	42.5%
5	子育ての悩みを聞く	58件	22.2%
6	保護者・子どもと一緒に遊ぶ	3件	1.1%
7	保護者の代わりとなって、子どもを見守る	80件	30.7%
8	その他	7件	2.7%
	無回答	2件	0.8%



問12 遊び場を利用する場合、利用の前後であなたが立ち寄る可能性のあるお店・場所についてあてはまるものを選んでください。【複数回答可】

- ・「コンビニエンスストア」の回答が82.5%と多い。
- ・次いで、「飲食店」の回答が37.6%、「みずほ温泉千年の湯」の回答が25.9%、「ショッピングセンター」の回答が25.5%と多い。

	選択肢	件数	割合
1	コンビニエンスストア	217件	82.5%
2	身近にある公園	24件	9.1%
3	百花台公園	23件	8.7%
4	みずほ温泉千年の湯	68件	25.9%
5	テニスコート、多目的グラウンドなどの運動場	7件	2.7%
6	図書館・公民館	41件	15.6%
7	飲食店	99件	37.6%
8	ショッピングセンター	67件	25.5%
9	寄り道はしない	27件	10.3%
10	その他	3件	1.1%



2. 保護者ヒアリング

基本構想の内容を受け、より具体的な整備内容を検討していく上で、保護者のニーズを把握することを目的として実施しました。

(1) 施設についての意見・要望

①遊戯スペースに関する意見

- ・ 0～2歳スペースには、柔らかいマットなどがあり、ごろごろしたり、ハイハイしたりできる空間があったらいいと思う。

②交流スペースに関する意見

- ・ 食事スペースがあったらいい。

③トイレに関する意見

- ・ 座ることができない赤ちゃんを抱っこしたままではトイレができないことがある。トイレに寝かせるベッドを設けるか、スタッフなど他の方にトイレの間抱っこしてもらうなどの対応が必要になると思う。
- ・ 女子トイレにも男児用トイレがあった方がよい。
- ・ お父さんが子どもを連れてきたときも同様におむつ替え等ができたり、子連れでもトイレができるよう、男性用トイレも同じ機能が合った方がいい。

(2) コンセプトやシステムについての意見・要望

- ・ 諫早市こどもの城の施設の考え（生きる力、自立など）のような施設になればいいと思う。
- ・ スタッフが関わるということがとてもいいことだと思う。他の屋内遊戯場を利用したことがあるが、小さな子の遊び場で小学生の大きな子が遊んだりして危ない面があったので、スタッフの方がいればそういった場面に対応できると思う。

3. 保育士ヒアリング

基本構想の内容を受け、より具体的な整備内容を検討していく上で、保育士の意見を参考にすることを目的として実施し、以下の表にまとめました。

1. 基本理念等に対するご意見をお聞かせください。

- ・雲仙市には全天候型の遊びや学びの場がなかったので、子どもたちにとっても保護者や施設関係者にとってもありがたいです。
- ・基本理念は良いと思うが、交流の拠点場所が雲仙市の中心部ではないので、瑞穂町から遠い住まいの保護者が利用するのに利用し辛いのではないかと思う。
- ・遊びの中から基本的なマナーやルールを守る機会にあるのでは？と思う。
- ・基本理念を実現するために重要となる3つの考え方の①に対して、「雲仙市の特徴を活かした遊びの拠点」とありますが、どんな特徴がありますか？
- ・施設運営の方向性について、スタッフだけに任せるのではなく、親自身が責任をもって施設を利用するようにしたほうが良い。
- ・子どもは遊びを通して学ぶことが伝わる内容だと良いと思います。そのような学びを通して、主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）へとつながっていきます。
- ・素晴らしいと思います。
- ・子どもたちが雨天の時も安心して遊べる、体を動かせる施設にしたい。

2. 各種機能別配置案（イメージ）についてご意見をお聞かせください。

（必要、不必要と思われる機能（部屋）、新たに必要と考えられる機能（部屋）、リスク面や想定されることなど）

- ・兄弟など同じ場所を利用できるような工夫をして欲しいです。（床は柔らかいフロアマットが理想的）
- ・すべてのコーナーを多年齢の子が利用できるように低い仕切りなどで分けて遊べたら保護者も見やすいのではと思います。
- ・保護者が1人の場合、分かれて遊ぶことが難しい。
- ・水遊びスペースの近くにシャワー室があった方がよいと思います。
- ・部屋全体が見わたすことができる環境であった方がよいと思います。（死角がないようにする）
- ・水遊びスペースと交流スペースはそれぞれ1箇所ずつにまとめた方がよいのでは。
- ・カフェの設置は必要ですが、同じようなものではなく、1箇所は売店程度のものにするとか、移動販売車にするとか工夫してほしい。
- ・0～5歳児までは同じ階で遊べる方がよい。
- ・ベビーカーを考えると、1階に0～2歳児のスペースがあった方がよいのでは。
- ・0,1歳児遊戯スペースが2階にありますが、エレベーターを使って上がる際、ベビーカーのまま入室できますか？（もし年齢が近いお子さん、双子など入館する際に抱っこして荷物をもって2階に上がるのは大変。）
- ・保護者の目が行き届く配置が良いです。
- ・乳児のスペースに幼児が交わってしまうと身体の大きさの違いで危険な場合があると思います。（他施設で小学生が物を投げて危険な場面があったそうです。）
- ・広いスペースの中、フワフワな山や気持ちのいい感触で遊べる遊具（網ではないもの）
- ・水遊びのスペースが2箇所ありますが1箇所ではよいのでは？1階の水遊びのスペースの付近に濡れた時の対応のスペースがありません。

3. 各年齢に応じ、どのような物や遊具があるといいですか。

①乳幼児（0～2歳）

ボールプール、滑り台付きミニジャング（マットやトンネルなど安全に動き回れる空間）、室内用砂遊び、水遊び、音が鳴る遊具、舐めても安心な積み木、人形、ミニカーコーナー（コールやレールがあれば嬉しい）、乗り物（足が届くサイズ）、押し車、プレイジム、手指を使った遊びが出来るもの

②3～5歳

木製滑り台付きジャングルジム（上り棒など）、ダンボールや木製のままごと遊びの家・迷路、レゴブロック、トランポリン、ゲーム感覚のボール投げ、大型のネット遊具、ソフトブロックの積み木、絵本・図鑑・お絵かき・製作のコーナー、身体を動かせる空間、机上遊び（パズル、ひも通し）、巨大ロング滑り台、巨大ブロック、バランスストーン、バランスボール、フワフワしたクッションの山みたいなもの、木のおもちゃ、サッカーゴール

③小学校低学年

ボルダリング、跳び箱・平均台遊具、うんてい・登り棒、空中のスペースを考えたアスレチック、大小様々なトランポリン・エア遊具、身体を動かせる空間、ターザンロープ、段ボールを使った工作・実験・体験が出来るコーナー、キッズニアのような仕事・遊びがリアルに体験できるコーナー、机上遊びコーナー（ままごと・積み木・絵本・図鑑・お絵かき・製作）、バスケットゴール

4. 各年齢に応じ必要と思われる遊び、学び、体験についてお聞かせください。（園で取り組まれていることなど）

①乳幼児（0～2歳）

音楽リズム遊び（歌・踊り）、手遊び（お集まり）、紙芝居・絵本コーナー（読み聞かせ）、ままごと遊び、落とす・たたく教具、お人形遊び、裸足で遊び足裏を刺激する（滑り台のような坂を足の指を使って上る事も大事）、親子でできるふれあい遊び、1対1の関わり、ベビーマッサージ、粘体や寒天・片栗粉など色々な五感等を楽しむ感触遊び、離乳食の作り方（少々手を抜いても大丈夫な話）、親子で遊べるわらべうたやタッチケア、シャボン玉遊び、子どもを見守れる一段高いベンチ、外遊び、散歩を通して自然とふれあう

②3～5歳

音楽リズム遊び・わらべ歌遊び、プール、トランポリン、跳び箱、マット、机上遊び（ままごと・LEGOブロック・木工玩具・パズル・トランプ等）、作って遊ぼう、自分で遊びを選べる環境、四季を通して自然を体験する（種植えから収穫までを通して体験するなど）、化学コーナー、製作コーナー（木工工作など）身体を動かす遊び・体力づくり、子どもが大人の体に登ったりして楽しむ親子で体を動かす遊び

③小学校低学年

音楽リズム遊び・歌や楽器などに触れる、作って遊ぼう、簡単な科学実験コーナー・ミニアスレチック、机上遊び（縄跳び・UNO・ボードゲーム・ラキュー・トランプ）、ルールがある遊び、製作コーナー、自由に身体を動かす遊び、自然と触れ合える体験、社会のしくみが学べる、物を作って持ち帰るようなこと（プラ板など）、学年に関係なくコミュニケーションを図ることができ、一緒に色々な事を経験したり学んだりできる

5. その他、ご意見等があればご記入願います。

- ・自動販売機で飲み物だけではなく、パンやたこ焼きなどの機械も設置してもらえるとありがたいです。
- ・諫早市にあるこどもの城とはまた違った施設にしてほしい。
- ・荒天時に園全体でお弁当を食べさせてもらえるようなスペースも設けて欲しい。監視だけでなく、子どもと一緒に、運動や遊びを楽しみながら、指導してもらえるようなスタッフの配置を希望します。
- ・専門家による悩みを聞いてもらうスペースがあれば良い。
- ・不登校児がいつでも安心して行ける場所づくり、本人や親も相談ができ学校とも連携がとれるシステム
- ・地域を巻き込んだ活動
- ・子ども食堂（各地区で）
- ・何でも無料の貸し出しとなると、持ち帰られる可能性がある所以对策を考えなければならないのかなあ。
- ・雨の日など特に利用ができるような場所になるといいです。駐車場など乗り降りの際に屋根などがあると移動しやすい。できれば駐車場から入館までにつながる屋根が付いているといい。
- ・入館料は必要ですか？（団体・大人・小人・小学生）低学年までの利用しかできませんか？あと市内・市外、県内・県外などの料金設定はどうなりますか？
- ・カフェスペースでは持ち込みでの飲食は可能ですか？
- ・定期的なイベントとしてプロジェクションマッピングなど、人を呼び込む手立てとしてはどうでしょうか。
- ・施設のมาสコットキャラクターがいたらいいかなあ。
- ・建物や部屋はできる限り木の造りで、デッキがあったり、室内には観葉植物や木のおもちゃなど、取り入れてくださると嬉しいです。
- ・全天候型の遊び場を作ることはよいことだと思いますが、道路建設や人口の中心部移動に伴う減少など、市全体を見まわした子育て対策（基本構想の策定）をお願いしたい。

第5章 施設導入計画

1. 施設計画

(1) 施設整備方針

コンセプト及び基本理念などを踏まえ、施設の整備にあたっては以下の点に留意することとします。

① 遊び・学びを自ら創造できる空間

子どもたちが遊ぶスペースに関しては、自由に配置が可能な遊具など遊び方が固定されていない遊具を多く取り入れ、子どもたちが自発的に体を動かし、想像力を掻き立てるような施設とします。

② 多様な他者と交わり、共存できる空間

他の利用者やスタッフとの交流を生み出す仕掛け、施設・機能などの配置を意識するとともに、ユニバーサルデザイン^{*}の視点を取り入れ、すべての利用者に使いやすい施設とします。

③ コストを意識した再整備

既存施設の構造を活用した設計とし、再整備にかかるコストを最小限に抑えます。また、備品についても活用できるものについては極力活用し、無駄のない施設とします。

※ユニバーサルデザイン：あらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。

(出典：障害者基本計画)

(2) 必要機能の整理

施設整備方針に基づき、本施設に必要な機能を以下のとおり設定します。

表 5-1 ゾーンごとの必要な機能

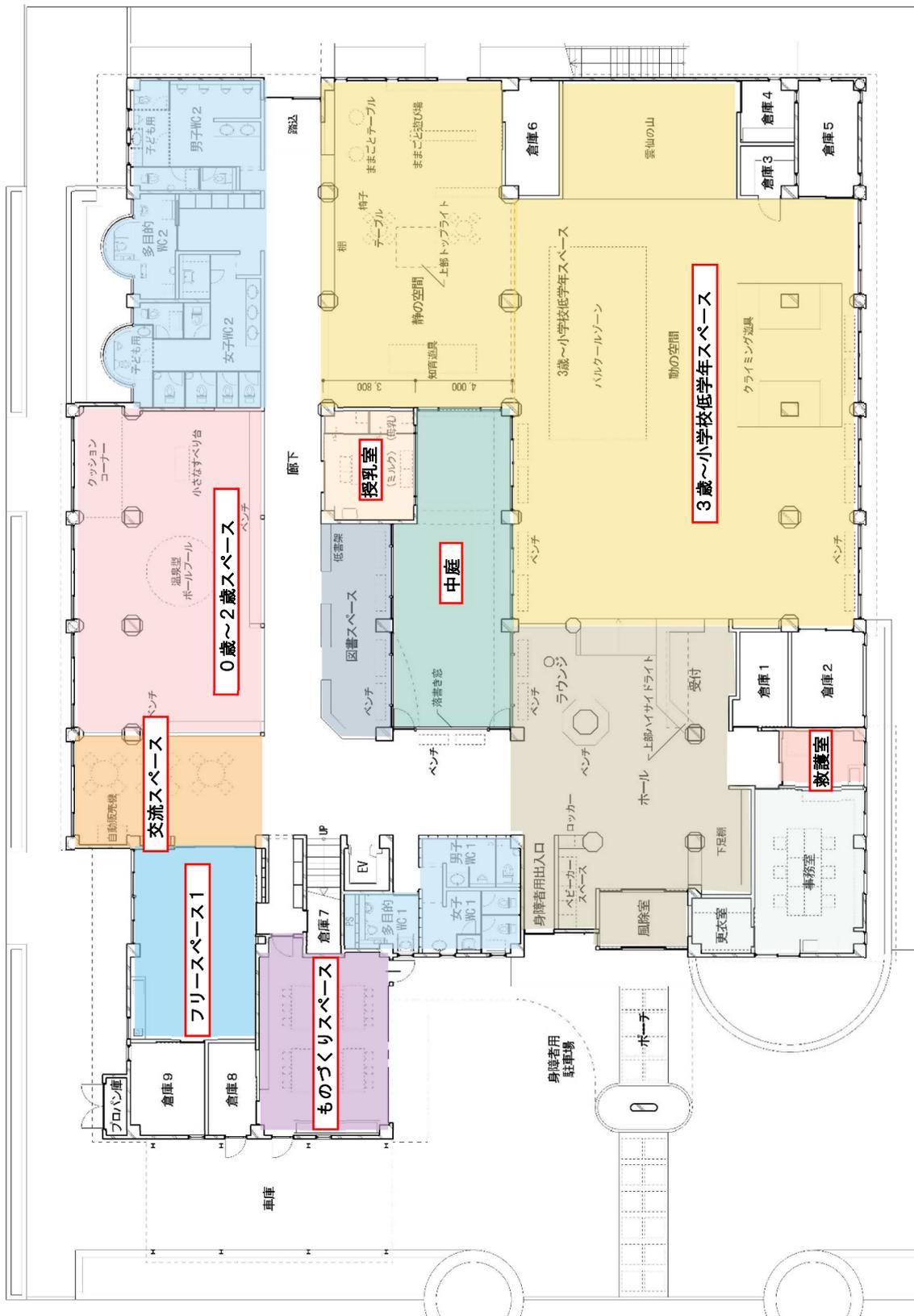
ゾーン	必要な機能
0～2 歳スペース	・床面はやわらかい素材を採用し、どこでも動き回れるようなスペースの確保
3 歳～小学校低学年スペース	・静の空間と動の空間を分け、子どもたちの多様な遊び方に対応 ・子どもたちが走り回れるような空間の利用
図書スペース	・安心して座って読書ができるスペース ・雲仙市の食や自然、歴史などが学べるブースの確保
中庭	・子どもも大人も芝生で寝転がったり、休憩できるスペース
交流スペース	・持参したお弁当や軽食が食べられるスペース ・利用者同士での交流ができるスペース
授乳室	・安心した環境で授乳、ミルクを与えることができる空間の確保
フリースペース	・常時は交流スペースのような利用をしつつも、地域の様々な活動を行うことができるスペース
ものづくりスペース	・工作ができるスペース ・ワークショップやイベントでも利用できるような備品の確保
事務室	・スタッフが事務作業や休憩できる空間の確保 ・スタッフが着替えを行う更衣室の設置
救護室	・怪我をした子どもに緊急の対応ができるような備品の確保
ホール・ラウンジ・受付	・ベビーカー置き場や利用者が靴を入れる下足棚、ロッカーの設置
トイレ	・子ども用トイレの設置 ・誰でも利用しやすいような多目的トイレの設置
研修室	・講座や地域の様々な活動を行うことができるスペース

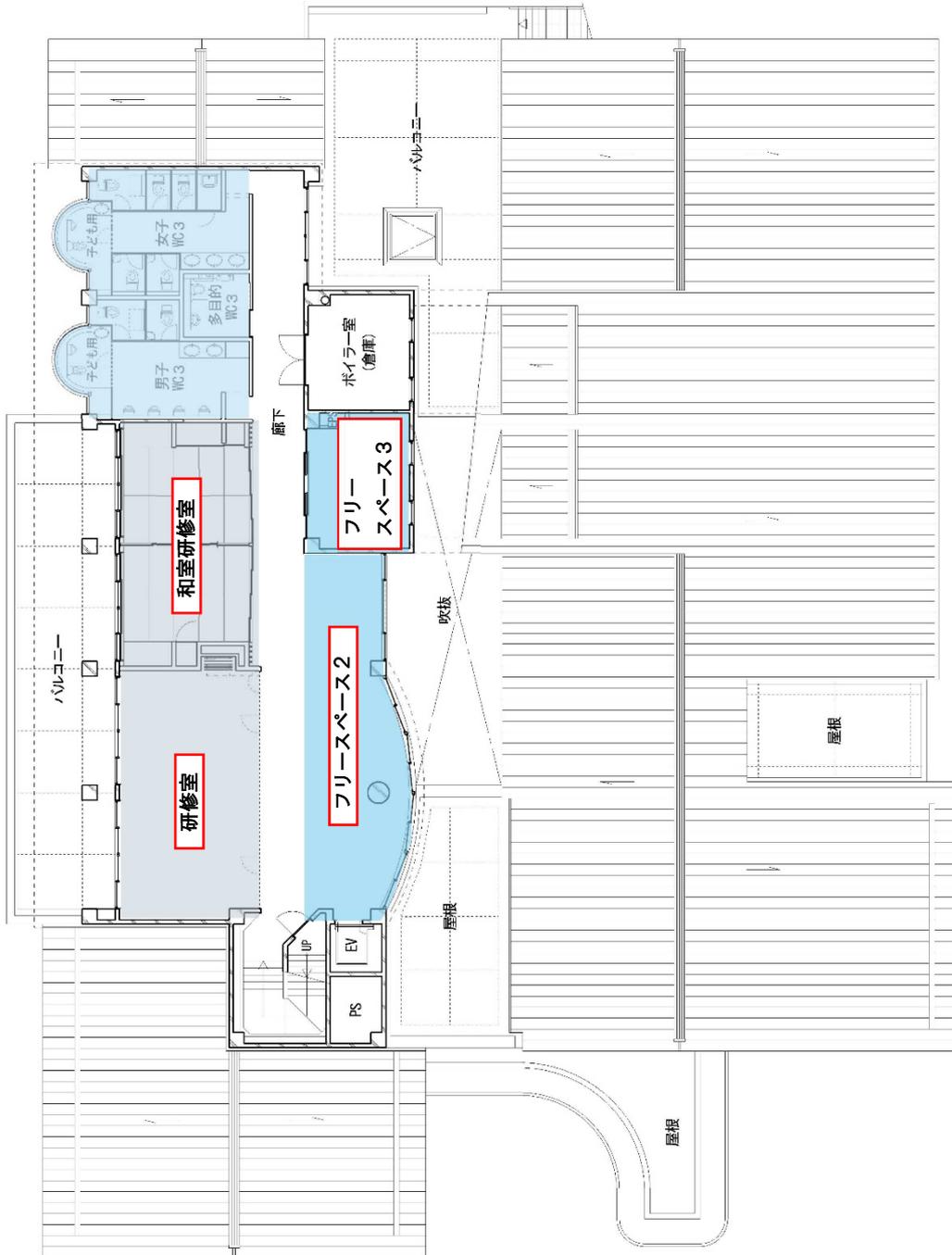
2. ゾーニング計画

(1) 全体ゾーニング

必要な機能に基づき、施設のゾーニングを行います。

● 1階





(2) 導入施設の検討

①1階

0～2歳スペース (約 106 m²)

●整備内容

- ・子どもが這って動くため、床面はやわらかい素材とします。
- ・ボールプールでは、自然を感じられるよう木材を使用します。
- ・小さなすべり台など、小さな子どもが遊べる遊具を設置します。
- ・クッションコーナーでは、やわらかくて安全な遊具により、保護者が安心して遊ばせることができる場とします。

●参考事例



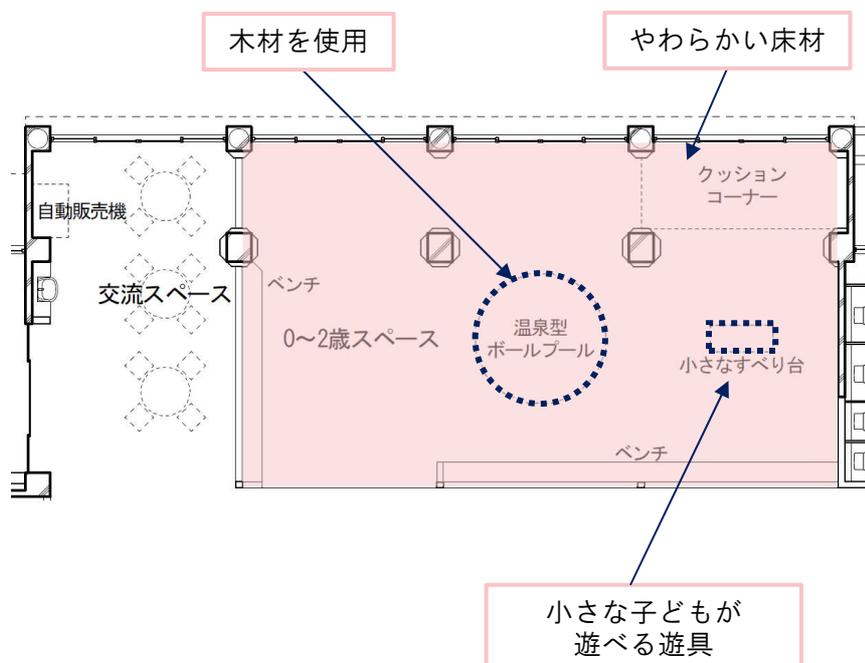
資料：諫早市こどもの城



資料：ボーンエルンド PLAYSCAPE
<https://playscape.bornelund.co.jp/shop/g/gQU14080/>



資料：会津若松市
総合運動公園あいづ総合体育館
<https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2016071100110/>



〈静の空間〉

●整備内容

- ・自由な遊び方ができる知育遊具により、子どもの想像力を育みます。
- ・ままごとコーナーでは、高さの低いキッチンやテーブルなどを設置し、ごっこ遊びがしやすい空間とします。

●参考事例



資料：下関市モーヴィ下関

〈動の空間〉

●整備内容

- ・子どもたちが走り回れるようにゆとりを持った空間構成とします。
- ・子どもたちの安全を考慮し、死角となる箇所が少ない空間構成とします。
- ・高さのある段差で構成された空間は、雲仙の山をモチーフにしています。
- ・パルクールゾーンでは、走る・跳ぶ・登るなど基礎的な運動ができる空間とします。
- ・クライミング遊具では、既存の支柱を活かし、よじ登ることができるようにします。
- ・遊具の入れ替え時や、企画・プログラム等で遊び場スペース全体を使用する際に、遊具の収納ができるように倉庫を設置します。
- ・保護者が子どもを見守ることができるスペースを空間全体に配置します。

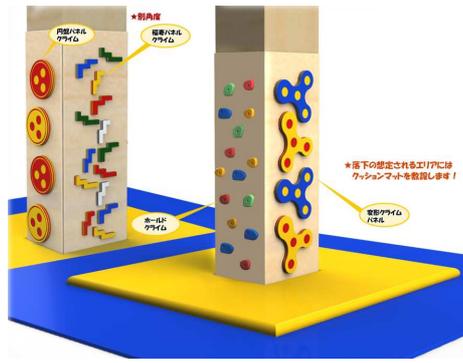
●参考事例



資料：唐津市モーヴィからつ



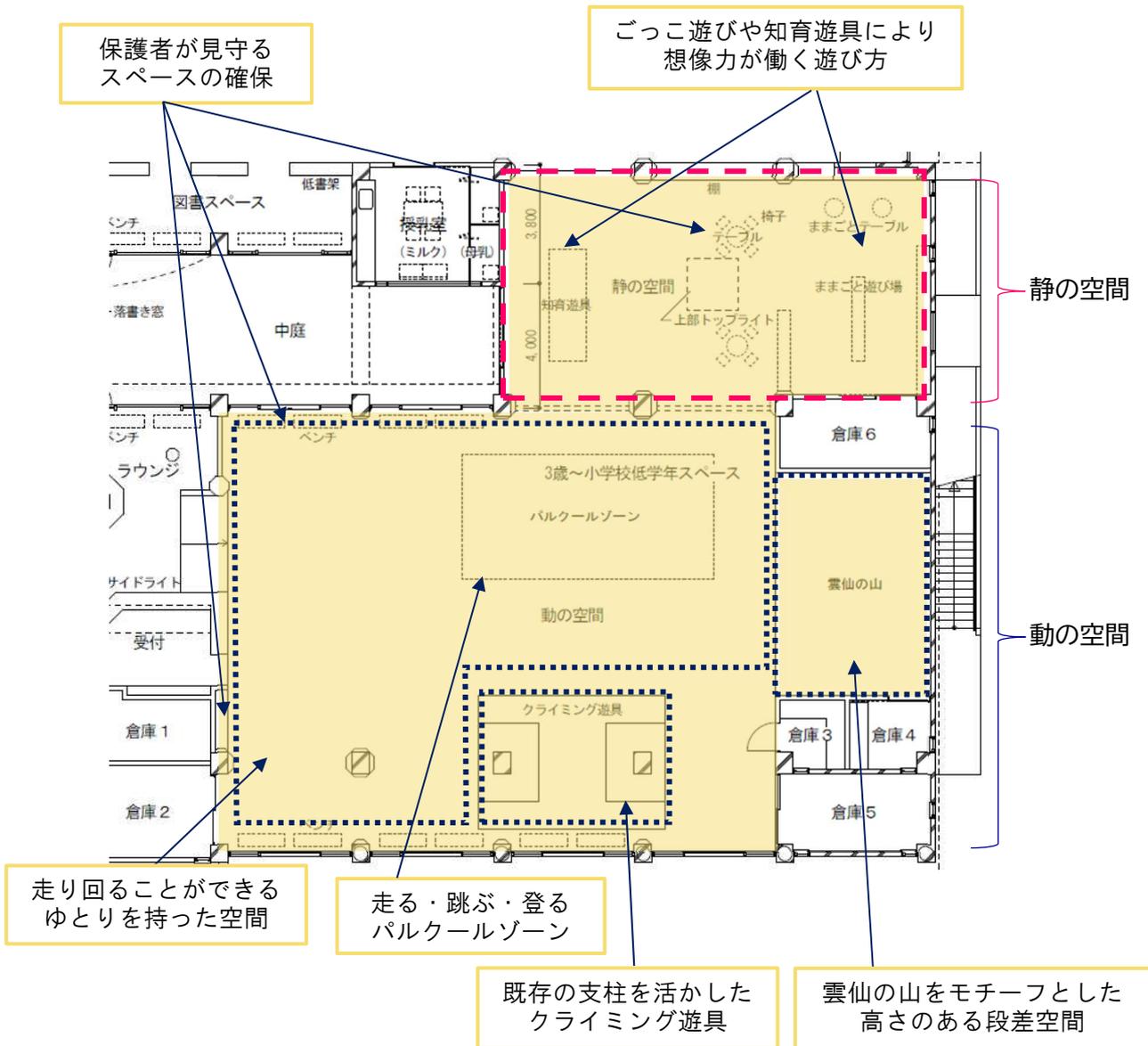
資料：下関市モーヴィ下関



資料：株式会社サトミ産業



資料：唐津市モーヴィからつ



図書スペース（約 25 ㎡）

●整備内容

- ・子どもが安心して本を取り出すことができるように低書架を配置します。
- ・ゆっくりリラックスしながら本を読む場とします。

●参考事例



資料：愛野図書室

中庭（約 64 ㎡）

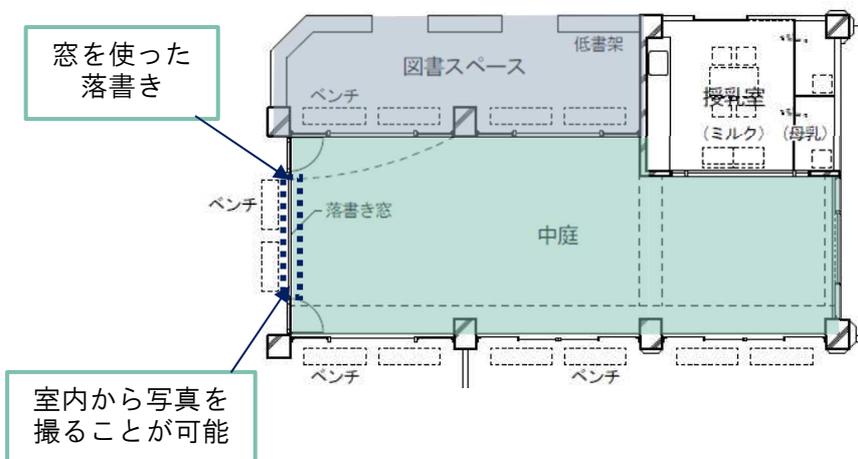
●整備内容

- ・ベンチを配置し、子どもや保護者が休憩できる空間とします。
- ・絵の具やクレヨンを用いて、窓に落書きすることができます。室内から保護者がお絵かきする子どもの写真を撮ることもできます。

●参考事例



資料：下関市モーヴィ下関



交流スペース (約 37 ㎡)

●整備内容

- ・ テーブル・椅子を設置します。
- ・ 自動販売機を設置します。
- ・ 持ち込んだ軽食など、食事ができる場とします。

●参考事例



資料：唐津市モーヴィからつ

授乳室 (約 18 ㎡)

●整備内容

- ・ 保護者が安心して授乳ができるように個室を 2 箇所設置します。
- ・ 哺乳瓶等を洗う洗面台を設置します。

●参考事例

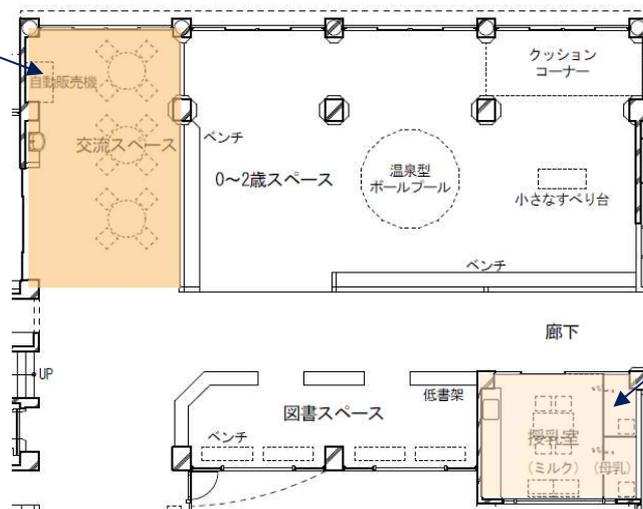


資料：唐津市モーヴィからつ



資料：下関市モーヴィ下関

自動販売機の設置



安心して授乳ができるように個室を 2 箇所設置

フリースペース 1 (約 42 ㎡)

●整備内容

- ・ テーブル・椅子を配置し、常時は交流スペースのような使い方とします。
- ・ IHコンロなどによる簡単な調理ができる場とします。

●参考事例



資料：旭市多世代交流施設
「おひさまテラス」

<https://ohisama-terrace.jp/floormap/publicspace/>

ものづくりスペース (約 43 ㎡)

●整備内容

- ・ 木育教室や木のおもちゃ作りなど、子どもたちが工作できる場とします。

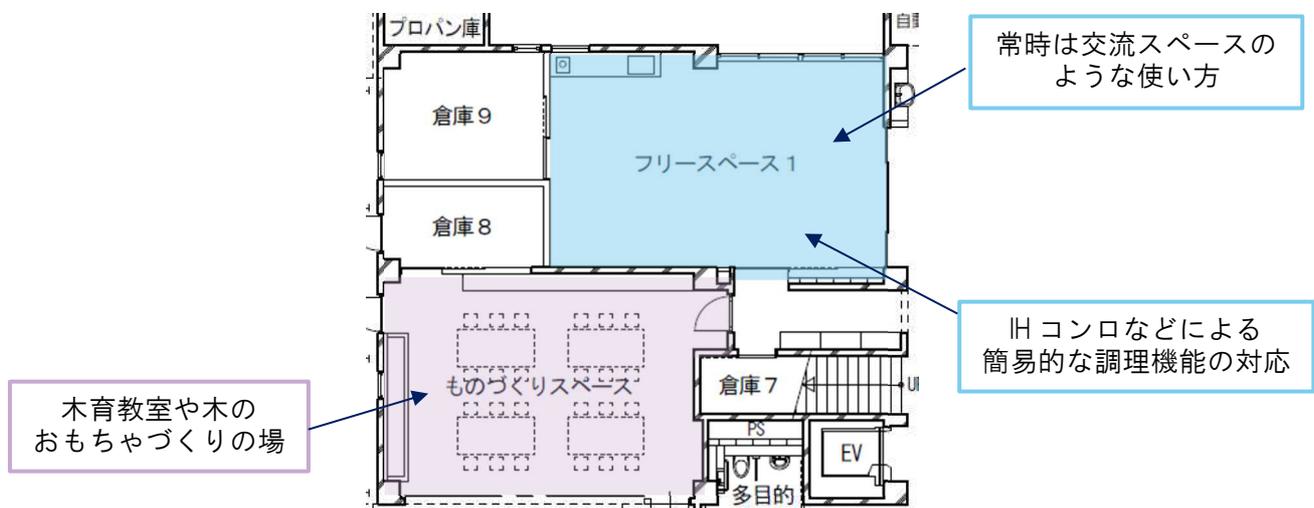
●参考事例



資料：諫早市こどもの城



資料：島原市がまだすドーム



事務室（約 38 ㎡）

●整備内容

- ・スタッフが事務作業や休憩する場とします。
- ・スタッフが着替えを行う更衣室を配置します。

救護室（約 8 ㎡）

●整備内容

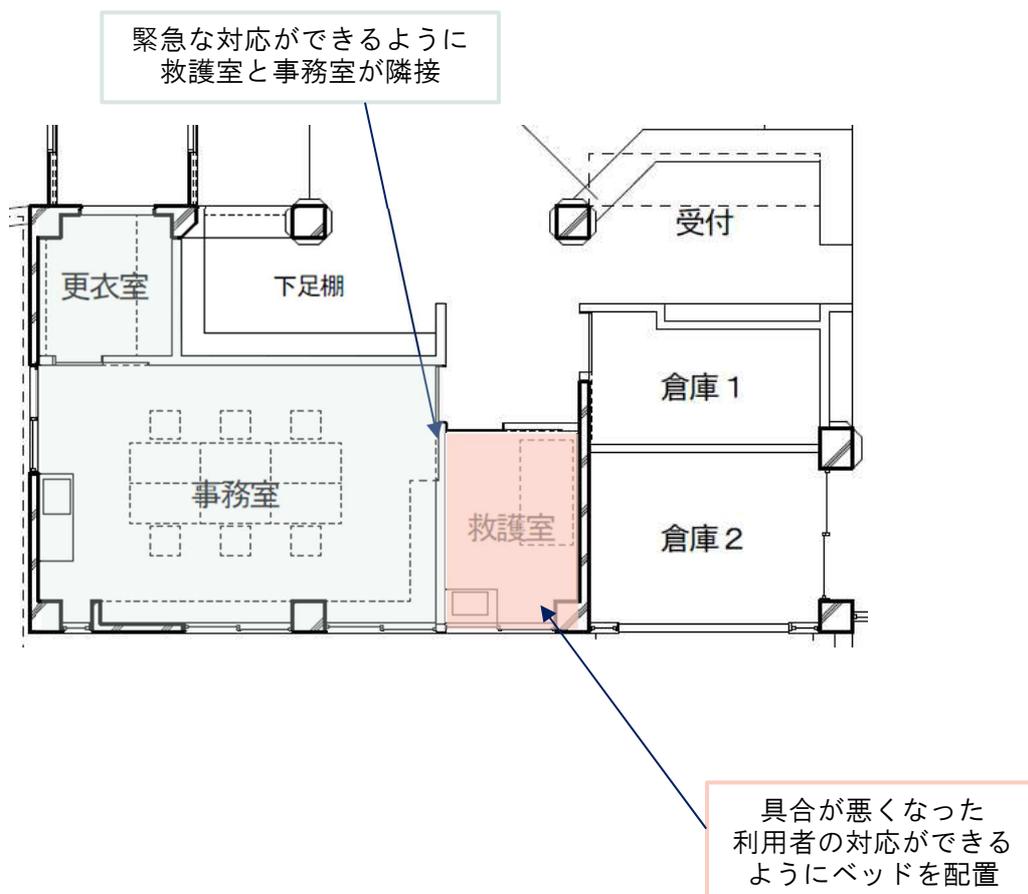
- ・緊急の処置を行うため、事務室に隣接し、遊び場スペースに近い箇所に配置します。
- ・具合が悪くなった利用者の一時的な対応ができるように、ベッドを配置します。

●参考事例



資料：尼崎市立美方高原自然の家 とちのき村

<https://www.obs-mikata.org/facilities/management/hoken/>



ホール・ラウンジ・受付（約 108 ㎡）

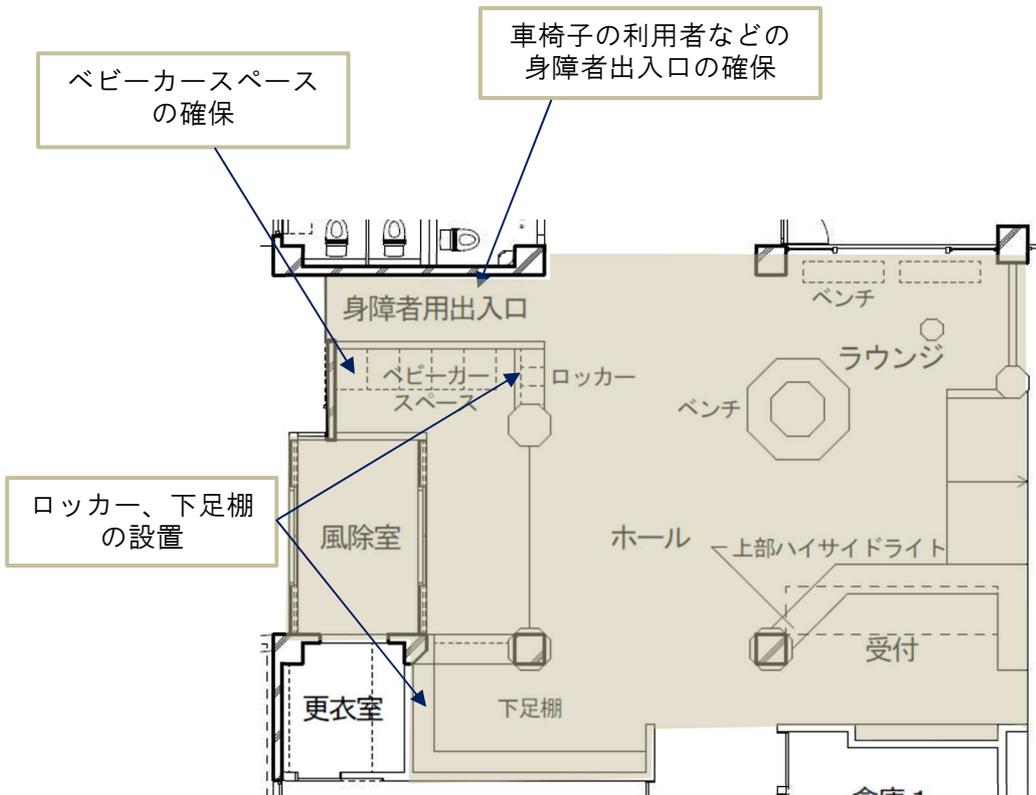
●整備内容

- ・下足箱を 3 歳～小学校低学年スペースの入口付近に設置します。
- ・荷物を預けられるようにロッカーを設置します。
- ・ベビーカースペースを入口に設置します。
- ・既存の身障者出入口を活用し、障がいのある方も安心して利用ができます。

●参考事例



資料：唐津市モーヴィからつ

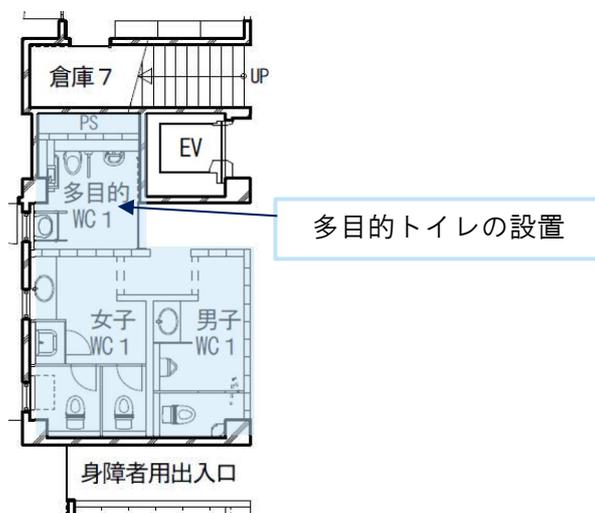


1階トイレ（約93㎡）

●整備内容

- ・1階には、ホール付近および、0～2歳スペース付近の計2箇所にトイレを設置します。
- ・子どもが安心して利用できるように、男子トイレ、女子トイレの両方に子ども用トイレを設置します。
- ・子ども用トイレ内には、着替え等ができるようにフィッティングボードを設置します。
- ・車椅子の利用者など障害のある方に対して、多目的トイレを設置します。
- ・オストメイト対応トイレを多目的トイレに設置します。

〈玄関付近〉



●参考事例

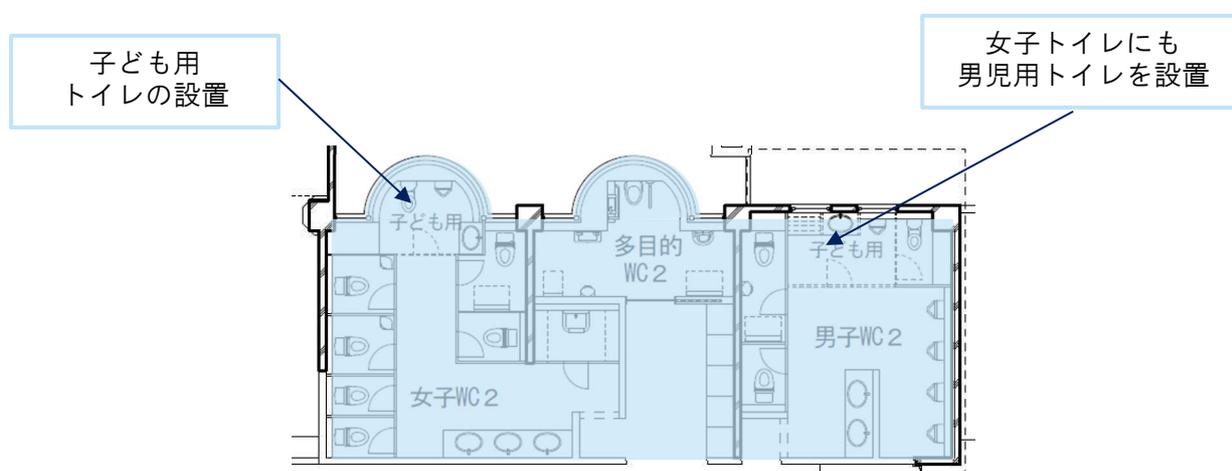


資料：諫早市こどもの城



資料：高浜町こども家庭センター「kurumu」
<https://www.kurumu-takahama.com/>

〈0～2歳スペース付近〉



②2 階

研修室（約 90 ㎡）

●整備内容

- ・市民の団体利用ができるスペースとして、主に休日に開放します。
- ・様々な用途に対応できるように、机・椅子、ホワイトボードなどの備品を設置します。

●参考事例



資料：旭市多世代交流施設
「おひさまテラス」

<https://ohisama-terrace.jp/floormap/publicspace/>

フリースペース 2（約 42 ㎡）、フリースペース 3（約 19 ㎡）

●整備内容

- ・市民の団体利用ができるスペースとして、主に休日に開放します。
- ・フリースペース 2 は、廊下と繋がったホールであり、開けた空間とします。
- ・フリースペース 3 は、会議室などの用途にも対応が可能です。

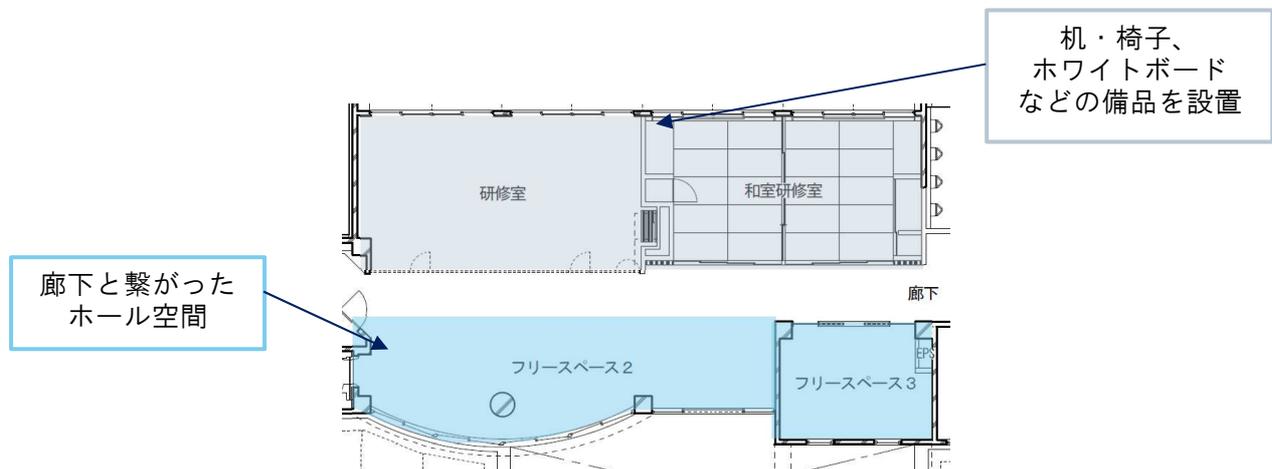
●参考事例



資料：古賀市リーパスプラザこが



資料：大牟田市エコサクセンター 産業支援センター
<https://www.chisou.go.jp/chitele/shisaku/office/690.html>



2階トイレ（約 56 ㎡）

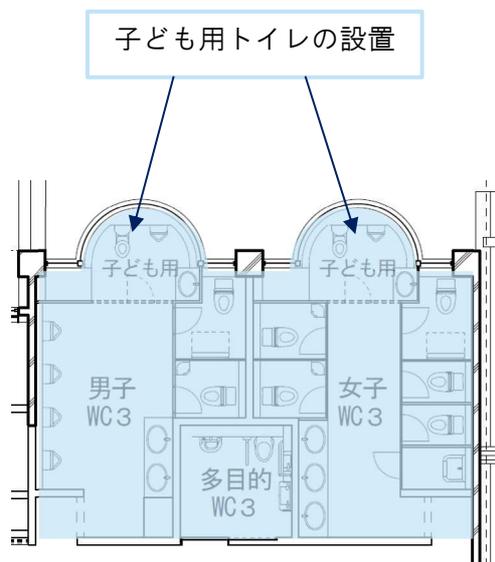
●整備内容

- ・1階と同様に、オストメイト、子ども用トイレ、フィッティングボードを設置します。

●参考事例

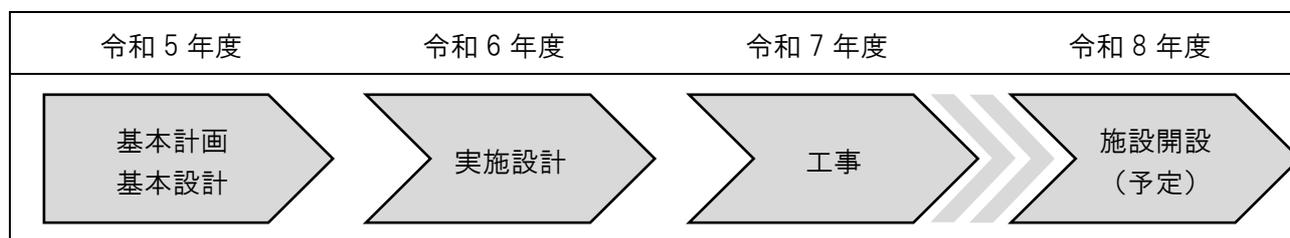


資料：唐津市モーヴィからつ



3. 施設整備スケジュール

施設整備スケジュールは以下のとおり想定しています。



4. 概算事業費

既存施設の改修に係る経費は以下のとおりと想定しています。

名称	工事費
建築工事費	¥116,200,000
電気設備工事費	¥41,900,000
機械設備工事費	¥37,200,000
共通費	¥59,700,000
合計	¥255,000,000

※税別表示。備品（遊具）、その他等は除く。

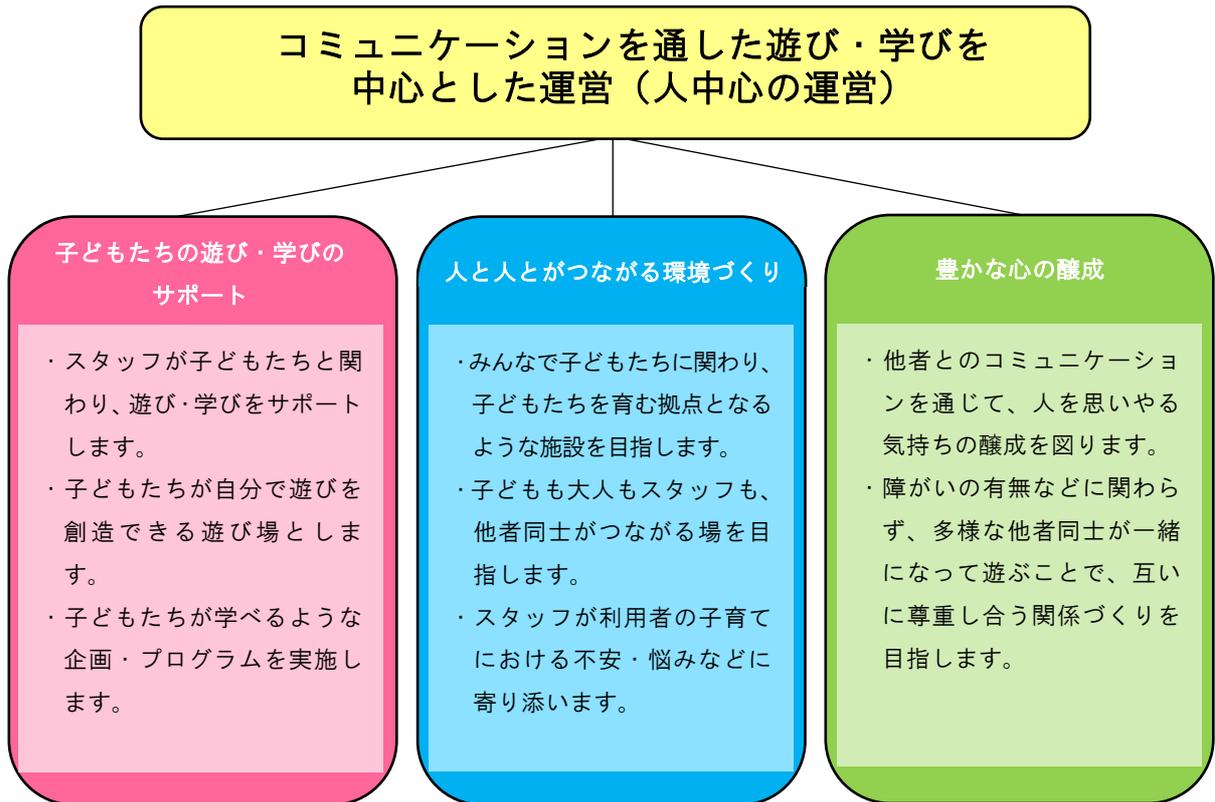
※あくまでも概算事業費であり、今後も建築物価の高騰等の環境変化により増減する可能性があります。

第6章 管理運営計画の検討

1. 管理運営の基本的な考え方

本施設のコンセプトである、“学び”・“つながる”・“豊かな心”を踏まえ、本施設の管理運営方針を設定しました。

〈管理運営方針〉



本施設は、子ども・保護者・スタッフが遊びを通してふれあい、学ぶことができる場とし、子どもも大人も、“知らない人”と積極的に交流することを目指します。

また、万が一の怪我や事故等に備えるため、スタッフと保護者が協力して、子どもたちを見守ることを想定します。

⇒以上を踏まえ、保護者同伴での利用を基本とし、子どもの預かり施設のような機能は持たないこととしますが、子どもの自主性を育むプログラムを行う場合などは、保護者とスタッフが事前に協議、連携のうえ、子どもの「したい」をかなえられるよう努めることとします。

2. 周辺施設との連携

本施設は、みずほすこやかランド内の施設として、すこやかランドの温泉施設やスポーツ施設、芝生広場等との連携・一体的な利用が可能であるため、子どもだけでなく、親世代や祖父母世代などを含めた多世代の交流増進が期待されます。

本施設の南東側には、県立百花台公園やみずほの森公園といった屋外施設があります。百花台公園は、県外からの集客力がある県内屈指の公園です。本施設は、百花台公園との連携が可能な距離に位置しているため、子どもたちの遊び方の選択肢の確保によって、施設間の連携による相乗効果の発揮が期待されます。また、みずほの森公園はキャンプ場が整備されているため、野外活動を通じた体験プログラムの実施などによる施設間の連携が期待されます。

3. 開館時間・休館日

(1) 類似施設の事例調査

類似施設の事例調査によると、開館を9時～10時とし、閉館を16時～18時としている遊び場が多くみられます。また、土日祝日は混雑を緩和するために入れ替え制としている遊び場もありました。また、スタッフは、開館前の1時間で清掃やレジ準備、遊具の確認（ネジの緩み、ブロック遊具の破損箇所）などを行い、閉館後に遊具の片づけや消毒を実施する遊び場も見られました。

表 6-1 類似施設の開館時間等

施設名称	開館時間		備考
	平日	土日祝日	
A施設	9:00～17:00		・休館日：月曜日 (月曜日が祝日・休日の場合は翌平日)
B施設	9:00～17:00		・休館日：水曜日、年末年始 (夏休み等学校休業日は開館、水曜日が祝日のときは翌営業日が休館)
C施設	10:00～17:00	10:00～18:00	・土日祝日は時間入れ替え制 (4部制)
D施設	10:00～16:00	10:00～17:00	・土日祝日は時間入れ替え制 (3部制)
E施設	10:00～16:40		・土日祝日は時間入れ替え制 (3部制)
F施設	14:00～17:00	10:00～17:30	・土日祝日は時間入れ替え制 (4部制) ・夏季期間は、開館時間の延長あり

(2) 開館時間

本施設の開館時間・休館日については以下を基本として検討していきます。

開館時間	<ul style="list-style-type: none"> ・9:30～17:00 (スタッフの勤務時間は、準備や清掃、片付けを考慮し、8:30～17:15(1時間の休憩を含む)とする)
休館日	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日は開館し、平日は1日休館日を設ける。 ・子育て中のご家庭のライフスタイルや生活時間面の変化等への対応も考慮するものとする。

4. 企画・プログラムの検討

体験できる企画・プログラムとして、他の類似施設では以下のような事例があります。

企画・プログラムの実施については、スタッフはもとより、地域の方々に講師になっていただくなど、地域を巻き込みながら、子どもから保護者まで楽しみながら学べるプログラムを用意し、にぎわいや交流の場を創出したいと考えています。

類似施設の事例を参考にしながら、今後、企画・プログラムを検討していきます。

表 6-2 プログラムの種類と概要

分類	種類	概要	プログラム例
子どもの学習プログラム	運動系	楽しみながら体を動かし、健康で健やかな心身を育むプログラム	身体能力を高める運動遊び教室
			身近な道具でスポーツ遊び
			パルクール体験
			ミニ運動会
	創作・芸術系	自ら創り出し、表現する楽しみを覚え、感性を育むプログラム	ものづくりワークショップ（お絵描き、工作、手芸など）
			楽器・演奏ワークショップ
			ダンス・演劇ワークショップ
			映画鑑賞会
	自然・食系	身近な自然や食に触れ、その素晴らしさや大切さを学ぶプログラム	食育ワークショップ
			ものづくりワークショップ（木材、植物など自然素材を使用）
	社会・文化・交流系	地域の文化に触れ、人との繋がりの中で社会について考え学ぶプログラム	SDGs を学ぶワークショップ
			地産地消マルシェ
こども祭り（縁日など）			
屋内キャンプ体験			
子育ての支援プログラム	乳幼児・保護者対象	乳幼児～5歳までの子どもを持つ保護者に向けた支援プログラム	子育て支援サロン（子育て準備、お悩み解消など）
			絵本の読み聞かせ
	親子対象		幼児～5歳までの運動遊び教室
			ベビーマッサージ教室